















































子宝岩

戦前は、この波打ちぎわに石灰岩が隆起してできた高さ数メートルの岩があった。その岩には上下二つの穴が開いており、何時のころからか村内外から人々がここを訪れ「子宝に恵まれますように」と祈り、男の子が欲しければ「上の穴」、女の子が欲しければ「下の穴」へ、小石を投げ入れて願かけをする習わしがあった。

地元の人々は、その岩を親しみをこめて「イシイリー」または「子宝岩」と呼んだ。



























